

Proxima 天然素材スピーカーケーブル

【SP-7000取扱い説明書】

本品は弊社の最新電源ケーブルPW-7700のシリコン含浸等ノウハウをフルに活かした超高音質スピーカーケーブルSP-5000のアップグレード版です。

7N高純度線とシリコン綿絶縁層、更に高度な導電処理外装の特長は音が鮮やかながら不自然な強調感が一切無く、奥行きのある音を楽しむことです。

SP-5000との主なる違いはケーブル部に含浸させたシリコン樹脂の違いです。

本品に採用しましたシリコンは粘度が極端に高く硬化に時間が掛かる為、大変扱いにくいものですが、硬化後も粘り性が強く、ケーブル自体の振動吸収効果が期待出来ます。

この為かSP-5000以上にケーブルの音癖を感じないばかりか、「(それまで使っていた)パワーアンプがこんなに凄かったのか！」と驚嘆するほどの高いポテンシャルを秘めています。

また実用面で市販のバナナジャック、Yラグ等の末端金具、あるいは変換アダプターによる音質劣化を考慮し、基本的にはフォーミング加工済みの高純度銅丸棒端子のみで接続出来るよう工夫してあります。

既に高価な変換アダプター等をお持ちの場合でも一度はダイレクト接続の音と比べてみて下さい。

(必ずや高価なアダプターの存在がバカらしく思えてくる筈です！)

バナナが緩めの場合は爪やマイナスドライバー等で少し拵げ指で締めながら差し込むと挿入が楽でしかもしっかりと接続できます。

(フォーミング端子のままバナナアダプターに締め付けて構いません。Yラグの代わりにバナナ加工端子を10mm近く拵げてフックとして使うことも可能です。柔らかい線ですので自由な加工が可能です。例えばバナナの根本で曲げるなどしても音質上は問題ありません。但し、怪我のないよう充分お気付け下さい)

本ケーブルは僅かですが方向性があります。SP-7000ラベルの方向マーク(左がアンプ側)が弊社の推奨方向です。(ジックリ聴き込むと差が判る程度ですが、一度はご確認下さい。

くれぐれも後で「逆だった！」となりませんように…)

なお、木綿等の天然繊維類は吸湿性があるため帯電しにくく、これが音の良さの要因のひとつになっていますが、本品では導電処理によりこの作用をさらに高めております。この処理は永続性がありますが、濡れ雑巾等での清掃は帯電防止効果が変わってしまう危険性がありますので絶対にお止めください。汚れが気になる時はブラシ等でホコリを落とす程度に抑えてください。(外装がさらに毛羽だっても全く悪影響はありません)

本品はお客様の希望に合わせた長さのものを作製いたします。(40cm以上、10cm単位)また、ご指定の端子を付けることも可能ですのでご相談下さい。

〔仕様〕

- ◎導線 7 N銅縫り線 高粘度シリコーン含浸綿被覆
- ◎導線抵抗値 約34 mΩ/m (往復)
- ◎内シース 100%綿網組
- ◎外シース 綿麻混紡網組 (導電処理品)
- ◎重量 約45 g/m
- ◎標準端末仕上げ 6 N銅丸棒 (1.5φ単線) バナナ (4φ)、あるいはYラグ互換フォーミング端子

使用上、不明な点あるいは御意見がございましたら、下記メールをご利用ください。

株式会社 日本オーディオ

E-mail: nipaudio@netlaputa.ne.jp

URL: <http://nipaudio.com/>

p r t d . 2 0 1 5 / 0 7